

Nagasaki Institute of Applied Science



きわめる。拓く。創り出す。

平成28年度（2016年度）

事業報告書

平成29年5月

学校法人 長崎総合科学大学

も く じ

I 建学の精神及び大学の理念	p. 2
II 沿革	p. 4
III 法人の概要	p. 6
IV 平成 28 年度事業の概要	
IV-1 長崎総合科学大学(大学院・学部学科)、附属高校の特色	p.10
IV-2 長崎総合科学大学	
(1) 教育改革・カリキュラム改革に向けた取り組み	p.12
(2) 学生募集	p.17
(3) 外部資金の獲得・寄付の充実	p.22
(4) 施設等整備計画	p.23
(5) 組織運営体制	p.24
IV-3 長崎総合科学大学附属高等学校	
(1) 教育改革・カリキュラム改革に向けた取り組み	p.25
(2) 生徒募集	p.28
(参考) 平成 28 年度年間行事・事業の概要	p.30

I 建学の精神及び大学の理念

建学の精神

「自律自彊」	自己の確立
「実学実践」	ものづくりとしての実行力
「創意創新」	ものまねではない新技術の開発力
「宇内和親」	世界的視野の保持

本学は、昭和 17(1942)年、川南工業株式会社川南豊作社長の寄附行為によって創立された川南高等造船学校をその起源としています。

当時の創立趣意書には、国家存亡をかけた戦時における国策遂行のため、優秀な造船技術者を養成することによって、国の要請に応える旨が記述されています。

また、創立趣意書と共に策定・公表された「本学教育の特質」には、

- ① 実地練習に主眼を置き、机上の学理研究にのみ偏重し技術の錬磨・錬成を軽視するような弊害を打破することによって、高級技術者としての確固たる信念を養成すると共に、技術の向上と人格の修養に資する。
- ② 多人数学生への口述講義による技術者教育は効果が無く、一学級の収容定員を少人数として個人指導に重点を置き、教授者の人格を通して、技術の伝習と人格教育を行う。
- ③ 青年期の学校教育における精神修養は国家の人材確保において最も大切であり、従って、全学生の寄宿舍生活を通して、指導者と寝食を共にしながら、共同生活、社会訓練の基礎を構築する。

との基本的な考え方が示されています。

創立趣意書並びに本学教育の特質にみられる創立時の思念は、普遍的な人間尊重の理念と実践的教育・研究開発への情熱にあふれたものであり、今日においても、本学教育の根幹として、その意義と輝きを厳然と保持しています。

このことを踏まえ、本学は、戦後 60 年、4 年制大学昇格 40 周年の節目に当たる平成 17(2005)年 11 月に、近年の社会状況や教育環境の変化をも勘案し、創立時の先駆的な思念を四字成語として現代化し、本学の「建学の精神」として決めました。

また、同時に、古代ギリシャの先哲ヒポクラテスの言葉

大学の理念

「人類愛の存するところ、技術への愛もまた存する」

を「大学の理念」として掲げることとしました。

II 沿革

1942 (昭和 17 年 12 月)	財団法人川南高等造船学校 設立認可
1943 (昭和 18 年 4 月)	川南高等造船学校 (造船工学科、機械工学科) を長崎県西彼杵郡香焼島に開校
1944 (昭和 19 年 10 月)	川南造船専門学校と改称
1945 (昭和 20 年 3 月)	長崎造船専門学校と改称
1949 (昭和 24 年 6 月)	長崎造船高等学校 開校 (現 長崎総合科学大学附属高校)
1950 (昭和 25 年 1 月)	長崎造船短期大学 (造船科 (造船専攻、機械専攻)) 開学
1951 (昭和 26 年 3 月)	学校法人長崎造船短期大学 認可 (財団法人から学校法人へ組織変更)
1961 (昭和 36 年 5 月) ~	香焼島より長崎市網場町に移転
1962 (昭和 37 年 3 月)	
1962 (昭和 37 年 4 月)	長崎造船短期大学に機械科、電気科 設置
1962 (昭和 37 年 4 月)	長崎造船高等学校を長崎造船短期大学附属高校と改称 長崎造船大学 (工学部船舶工学科・電気工学科・建築学科) 開学、長崎造船短期大学附属高校を長崎造船大学附属高校と改称
1976 (昭和 51 年 4 月)	長崎造船大学大学院工学研究科修士課程 (構造工学・流体工学専攻) 設置、工学研究所 開設
1977 (昭和 52 年 12 月)	長崎平和文化研究所 開設
1978 (昭和 53 年 4 月)	別科日本語研修課程 設置、保健センター、電算機センター 開設
1978 (昭和 53 年 7 月)	学校法人長崎総合科学大学、長崎総合科学大学及び長崎総合科学大学附属高校と改称
1978 (昭和 58 年 4 月)	環境科学研究所と地域経済研究所を改組し、地域科学研究所 開設
1988 (昭和 63 年 4 月)	工学基礎センターと電算機センターを改組し、情報科学センター 開設
1992 (平成 4 年 10 月)	創立 50 周年記念式典 挙行
1995 (平成 7 年 4 月)	工学研究所を工学研究センターに改称
1997 (平成 9 年 4 月)	大学院工学研究科修士課程 (環境計画学専攻・電子情報学専攻) 設置
1998 (平成 10 年 4 月)	海洋スポーツ文化センター 開設
1999 (平成 11 年 3 月)	シーサイドキャンパス用地購入

1999 (平成 11 年 4 月)	工学部電気工学科、管理工学科を工学部電気電子情報工学科、経営システム工学科へ学科名称変更
2001 (平成 13 年 4 月)	人間環境学部環境文化学科 設置
2002 (平成 14 年 4 月)	大学院工学研究科博士後期課程総合システム工学専攻 設置、新技術創成研究所 開設
2003 (平成 15 年 4 月)	学術フロンティアセンター 開設
2005 (平成 17 年 4 月)	工学部機械工学科情報制御工学コース及び経営システム工学科を改組、情報学部知能情報学科・経営情報学科 設置
2006 (平成 18 年 4 月)	大学院工学研究科修士課程構造工学専攻と流体工学専攻を統合して、生産技術学専攻 設置、工学研究センターを新技術創成研究所へ併合
2007 (平成 19 年 4 月)	工学部電気電子情報工学科を工学部電気電子工学科へ学科名称変更し、医療電子コース開設
2008 (平成 20 年 4 月)	基礎教育センター、共通教育センター、言語教育センターを統合して共通教育センターに改称
2008 (平成 20 年 8 月)	産官学連携センターを開設
2009 (平成 21 年 4 月)	工学部建築学科と人間環境学部環境文化学科を、環境・建築学部人間環境学科及び建築学科に
2012 (平成 24 年 10 月)	創立 70 周年記念式典 挙行
2014 (平成 26 年 4 月)	工学部、情報学部、環境・建築学部を改組して、工学部工学科、総合情報学部総合情報学科設置
2014 (平成 26 年 8 月)	附属高校をグリーンヒルキャンパスからシーサイドキャンパスへ移転
2016 (平成 28 年 7 月)	海洋エネルギー研究センター開設

Ⅲ 法人の概要

(1) 学校所在地

〒851-0193 長崎市網場町 536

(2) 役員・教職員の概要

【理事】(平成 28 年 6 月 1 日現在)

11 名 学校法人長崎総合科学大学寄付行為 第 6 条第 1 項

理 事	立 石 暁 (理事長)
理 事	久 保 一 雄 (常務理事)
理 事	木 下 健 (同 上)
理 事	野 瀬 幹 夫 (同 上)
理 事	田 原 章 吾
理 事	平 子 廉
理 事	日 當 明 男
理 事	坂 井 俊 之
理 事	石 野 和 生
理 事	池 田 久美子
理 事	本 村 忠 廣

【監事】(平成 28 年 6 月 1 日現在)

2 名 学校法人長崎総合科学大学寄付行為 第 6 条第 1 項

監 事	宮 原 泰治郎
監 事	草 野 恒 史

【評議員】(平成 28 年 11 月 26 日現在)

25 名 学校法人長崎総合科学大学寄付行為 第 20 条第 1 項

1号 (学長) (校長)	2号 (法人職員)	3号 (卒業生)	4号 (保護者)	5号 (学識経験者)
木下 健 田原 章吾	野瀬 幹夫 平子 廉 日當 明男 大場 和彦 松本 浩 川原田典昭	山下 力 御所 健剛 蛭川 誠嗣 安田 光晴 古賀 誠次	吉村 和博 丸田 洋嗣	池田久美子 石野 和生 奥村 修計 上蘭恒太郎 久保 一雄 坂井 俊之 白木原 浩 立石 暁 船橋 修一 本村 忠廣

【教職員】(平成 28 年 5 月 1 日現在)

(単位：名)

大学教員	教授 29	准教授 13	講師 5	助教 7	助手 0	計 54
高校教員	校長 1	教頭 1	教諭 21	養護教諭 1		計 24
事務職員等 (含む高校 事務)	室長 2	課長 5	課長 補佐 4	係長 13	一般 職員 9	教務 職員 1 計 34

※学長及び囑託職員を除く

(3) 大学院・大学・付属高等学校の構成

【大学院】

研究科	課程	専攻	学位
工学研究科	修士課程	生産技術学専攻 環境計画学専攻 電子情報学専攻	修士(工学) または修士(学術)
	博士課程	総合システム工学専攻	博士(工学) または博士(学術)

	入学者の状況		在学生の状況		編入学の状況	
	定員	入学者数	定員	在学生数	定員	編入学数
工学研究科	33	12	69	31	若干名	
修士課程	30	11	60	25		
博士課程	3	1	9	6		

【大学】

学部

【平成26年度開設】

学部	学科	学位
工学部	工学科 船舶工学コース 機械工学コース 建築学コース 電気電子工学コース 医療工学コース	学士(工学)
総合情報学部	総合情報学科 知能情報コース マネジメント工学コース 生命環境工学コース	学士(工学)

【既存設置学部・学科】

学部	学科	学位
工学部	船舶工学科	学士(工学)
	機械工学科	学士(工学)
	電気電子工学科	学士(工学)
	建築学科	学士(工学)
情報学部	知能情報学科	学士(工学)
	経営情報学科	学士(工学)
環境・建築学部	人間環境学科	学士(人間環境学)
	建築学科	学士(建築学)

学部学科名	入学者の状況		在学生の状況		編入学の状況	
	定員	入学者数	定員	学生数	定員	編入学数
工学部 (旧)			110	115	若干名	
船舶工学科				28		
機械工学科				26		
電気電子工学科				61		
建築学科				0		
工学部 (新)	150	138	450	378		6
船舶工学コース		34		75		2
機械工学コース		17		58		1
建築学コース		30		74		2
電気電工学子コース		21		58		
医療工学コース		36		113		1
環境・建築学部			60	37		
人間環境学科				18		
建築学科				19		
情報学部			65	44		1
知能情報学科				23		1
経営情報学科				21		
総合情報学部総合情報学科	85	82	255	196		
知能情報コース		33		89		
マネジメント工学コース		26		52		
生命環境工学コース		23		55		
大学合計	235	220	940	770		7

【別科】

別科日本語研修課程	修業年限1年(外国人のみ)
-----------	---------------

別科日本語研修課程 定員 20 名に対し、在學生 9 名

【付属高校】

普通科	全日制
-----	-----

	入学者の状況		在学生の状況		編入学の状況	
	定員	入学者数	定員	生徒数	定員	編入学数
附属高等学校	120	101	360	339	—	—